

「生命（いのち）の安全教育」実践事例

活動名	スマートフォンの使用にかかわる安全教室		
学校名	海老名市立海西中学校		
学年	第1～3学年	人数	444人
日時	2023年4月20日（木） 11:00～12:50		
取扱いの分類	道徳		
講師	海老名警察署 警察官（生活安全課 防犯少年係）		
学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・SNS等の正しい使い方や危険性を知り、いじめ防止や人間関係作りに役立てる。 ・SNS等を通じてトラブル（性被害等）に巻き込まれないよう正しい知識を身につける。 		
内容	<p>（導入）SNS等の正しい使い方（発信時の注意、個人情報特定される可能性があるため、写真の掲載をしない等）</p> <p>（展開）スマートフォン等のインターネットによるトラブルについて （正しい情報は公的機関から得ること、金銭トラブルや、いのちの危険にさらされること があるため、情報の元を疑うこと、何か対処が必要で困る場合には、相談できる大人 を頼ること等、メディアリテラシーに関わること）</p> <p>SNSを通じて他者と会い、性的な被害に繋がる事案が増えていること。</p> <p>入口がSNSの場合もあれば、身近な人とのやりとりで、それが性暴力に繋がること もあること。</p> <p>（まとめ）嫌な思いをすることやトラウマになることがないよう人と人との関係性づくりや、コミュ ニケーションを大切にして、人権を意識して過ごしてほしいということ。</p>		
成果 （児童・生徒、教 職員の感想等）	年度当初に SNS の使い方を正しい使い方を確認することで、未然にトラブル等を防ぐきかけになる。		
課題	文部科学省から出ている資料で各学級で指導するとなると、時数の確保・担任の負担が増し大変だと思う。		
学校全体での 取組や工夫 （予定も可）	生命に関することは、道徳等を通じて考える機会を持たせている。		

※可能であれば様子のわかる写真や実施要項などを添付してください。